

**令和元年度日本NGO連携無償資金協力
「ディエンビエン省における山岳民族の女兒と女性に対する
人身取引予防事業」贈与契約署名式
梅田邦夫大使挨拶**

本日、令和元年度NGO連携無償資金協力「ディエンビエン省における山岳民族の女兒に対する人身取引予防事業」の贈与契約署名式を実施できることをとても嬉しく思います。この機会に、日本政府を代表して、3点申し上げます。

一点目は、ベトナムの少数民族対策に関してです。

御承知の通り、ベトナムには、53の少数民族が存在し、人口の約14%（一千万人）を占めています。少数民族の多くは、山岳地帯に居住し、決して豊かではありませんが、民族の独自文化・言語は尊重されています。また、国会議員の17%は、少数民族出身であり、多くの方が党や議会の幹部として活躍されています。

ベトナムの近隣諸国の中には、少数民族問題が独立運動や深刻な人権迫害問題に発展し、国際社会から厳しい批判を受けている国もあります。ベトナムは多民族国家でありながら、深刻な民族間の争いはなく、ベトナムの少数民族対策には、学ぶべき点が多々あります。

その一方で、ベトナムでは、この数年急激な経済発展が続く中、都市部と山岳部の経済や教育格差が広がっています。特に、北部の山岳地帯では、少数民族も多く、経済発展にも取り残されるとともに、伝統的な少数民族の暮らしの中で女性の地位が低く、男性中心の社会・文化も残されている状況も聞いています。

そのような中、本事業が実施されるディエンビエン省は、少数民族の方が多く住む山岳地帯に位置しています。本事業は、少数民族の女兒や女性に正しい知識と生活する術を身につけ、人身取引や暴力の被害から身を守ることを目的としています。本事業を通じて一人でも多くの少数民族の方が正しい知識を身に付け、豊かな生活を送れるようにすることを期待しています。

なお、これまでもワールド・ビジョンでは、ベトナムにおいて、40件を超える数多くの少数民族の生活環境、教育環境の改善などの取組を行っていただきました。これまでの取組とともに、本事業を企画・実施されるワールド・ビジョン・ジャパンに改めて敬意と感謝の意を申し上げます。

2点目として、現在の日越関係に関して少し述べさせていただきます。

現在、日越両国は、多くの戦略的利益を共有しています。日本は、ベトナムが持続的発展を達成し、より強い国になることは、東アジア地域全体の安定と発展にとって、とても重要と認識しています。

その観点から、日本はベトナムの「広範な戦略的パートナー」として、政治・安全保障、経済、文化スポーツなど全ての分野において、ベトナムとの連携を強化したい考えです。そして、その一環として、ベトナムの少数民族対策、国土強靱化対策にも引き続き重点を置いていきたいと考えます。

3点目は、ベトナムの新型コロナウイルス対策についてです。日本を含め世界中で感染者が増加しており、各国政府は対応に全力を注ぎ、各国間の連携強化が益々必要となっています。

その中で、ベトナムでは、2月14日以降、新規の陽性患者を一人も発生していません。ベトナム政府の「非常に高い危機管理能力」、安全を重視するベトナム国民のご尽力に対し、心より敬意を申し上げます。

最後に、皆様の御健勝、本事業の成功及び、日越関係の一層の強化を祈念しまして、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。（了）